

(別紙4(2))

事業所名: グループホームつきとほし

目標達成計画

作成日: 令和3年1月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	全職員が理念をもとに日々の支援に繋げることが出来るよう、理念に沿った年間の個人目標やユニット毎の目標等を設定し、一定期間後に目標到達度について施設長等責任者と振り返るといった理念の共有に繋がる仕組みを導入することで、更なる介護の質の向上に繋げる	介護における個人及びユニットごとの目標設定を行う	職員一人ひとりの個人目標や各ユニットでの目標を設定できるようフォーマットを作成し、今後は年度終わりにそれぞれが掲げた目標について施設長と共に振り返り、問題等を個別に話し合う機会を設ける	14ヶ月
2	6	身体拘束に該当する行為について職員が十分に理解するまでには至っていない。どのような行為が身体拘束に該当するのか職員への周知を図るためにも、身体拘束に該当する11項目や3原則、3つのロックについての研修や社内勉強会などを通じて理解を深める	職員が身体拘束等についての具体的内容について理解し、個々の職員がいたわりの気持ちをもって利用者に接することが出来る。また、何某かの行為に該当するような事案が発生した場合、明るい雰囲気これを回避することが出来る	ユニットごとに身体拘束に該当する11項目や3原則についての勉強会を行った。今後はマニュアル等を作成し、虐待やそれに該当するような行為が生じそうになった場合に職員同士で注意し合い制止することが出来るよう、明るい雰囲気づくりを行う	12ヶ月
3	35	前年度は避難訓練の実績がないが、今年度は3回実施している。今年度はさらに消防署立ち会いによる訓練実施に加え、初期消火・通報・避難誘導など職員の日々の役割分担が明確にできるよう取り組むことが望まれる	緊急時の具体的実施要項について定め、職員誰もがスムーズに対応できるように、毎年間隔をあけることなく避難訓練を実施する。また、全ての職員が初期消火、通報、避難誘導など決められた役割を遂行出来る	避難時に建物内の人数等の把握が出来るよう、施設内各階の利用者及び職員の数内訳を業務日報に記載する。また、初期消火、通報、避難誘導など緊急時における職員の係決めを行う。(例えば、A勤が通報係などのマニュアルを作成し掲示することで避難方法の周知徹底を図るなど)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。